

もりふれ倶楽部通信 NO. 24

間伐推進についての勉強会が開催されます

もりふれ倶楽部 理事長 横 原 道 夫



山陰道の出雲のインターが近々開通しそうです。そして、高速道の無料化をマニフェストにあげる政府が誕生しましたので、出雲の流通関係も高速道の流れに乗って、大きく様変わりすることでしょう。これで、閉鎖的な出雲人の生活の様子が大きく変化しそうです。ある面では大いに期待できそうですが、他方ストロー現象も含めて、地方の過疎化がさらに加速する危険もあり、しわの磨耗した脳味噌で時の流れに対応するのは、結構重たく思います。

一般に高速道路は山中の高所を走るのので、見晴らしの素晴らしいところが随所にあります。自分が運転手の場合は、きょろきょろとわき見運転をするわけにもいかず、その景観を楽しむことは出来ませんが、視点が一段と高い観光バスなどからは、あっという間に過ぎ去るものの、見飽きることのない車窓風景が堪能できます。また、普段は下から眺めることの多い森林の様子を、上から(樹冠から)眺めることが出来ます。

ところで、車窓風景の中で非常に気になる景色があります。それは 30 年前後を経た、見事に円錐形をしたスギが正しく並ぶ人工林の周辺が完全に竹藪化し、さらに林内から竹がによきによき顔をだしている姿。さらに高木のスギがつる植物に巻きつかれ、樹冠が被覆されてしまっているもの。除伐や間伐がなされず林内が真っ暗で林床の土が剥き出しになっている林。冬の積雪の重みで折れてしまった木々。おそらくクマイチゴ等のいちごや、ジャケツイバラなどの頑強な棘のある植物が林縁から林内に侵入しつつあり、林内に簡単に入れそうもなさそうな林。さらに、松枯れにより白骨化したアカマツの残骸のなかに、成長の早い広葉の陽樹（いわゆる雑木）の群落が出来つつある林なども見られます。まさに人工林の荒廃の様子のオンパレードです。

このところ、諸外国が自国の政策上(温暖化防止など)、木材の輸出を抑えつつあるそうです。特に旧ソ連地区からの外材の輸入が大きく減少したようで、当然のことながら日本国内の木材の見直しが進められつつあり、優良な国産材を利用しようという動きが高まっていると聞きます。林業が再び日の目を見る日が近い将来にやってきそうです。その日のためにも林業施業の再活性化を図らねばなりません。

もりふれ倶楽部では、今までも何回となく林業普及活動、緑化推進、美しい森づくり等をタイトルにして里山の再生事業のボランティア活動を行ってきました。林業経営に必要な施業とその効能については皆さん十分承知のことではありますが、現在の里山林の荒廃は再生可能の限界に来ているように思われます。

今何とかしなくてはとの思いをこめて、10月31日(土)18時～21時に「愛する島根の森林の間伐を推進するために」という勉強会を開催することになりました。

全国林研グループ連絡協議会会長 田中惣次氏と森林ジャーナリスト 田中淳夫氏をお招きして、ふるさと森林公園学習展示館にて講演会とパネルディスカッションを行います。

ディスカッションコーディネーターは県林業課統括林業普及員 井ノ上二郎氏。パネラーとして、もりふれ倶楽部から 響 繁則さんにも出ていただきます。

林業に何らかのかかわりを持つ皆さんはもちろん、温暖化防止の森づくり、里山の再生等に心を寄せる皆さん ぜひご参加をお願いいたします。



全国林研グループ連絡協議会会長

田 中 惣 次 氏

多角的な林業経営に取り組む林業家。
農林水産省主催平成17年度農林水産祭林産部門天皇杯（1位）受賞。

去る8月29日～30日にかけての1泊2日、ふるさと森林公園において「森林を守ろう！山陰ネットワーク会議」の主催で、チェーンソーによる伐木・造材技術講習会が開催されました。私は、主任講師を務められた石垣正喜氏の班（＝林業に従事している人の班）で、受講生の1人として参加してきました。

私の林業における経験年数は6年ちょっとです。就林4ヶ月目に、チェーンソーで左足に創傷を負って以来、ケガをしないよう常に安全を心掛けてきたつもりでしたが、今回の研修会を受けてみて、それが“つもり”に過ぎなかったことを思い知らされました。

例えば、チェーンソーの構え方。私は最初に指導を受けた方から「体の正面で構えろ」と教わり、何の疑いもなく実践してきました。...ところが、それは安全どころか、キックバックが発生した場合に直撃を受ける大変危険な姿勢でした。言われてみれば「そりゃそうだ」という話なのですが、そういう基本的な部分が全く身に付いていなかった訳です。

石垣氏は「なぜそうする必要があるのかを考える、“なぜ”が大切。」としきりに言われました。論理的に説明ができてこそ、初めて人を納得させることができるものです。先生の話は、まさにそうでした。私が従来受けてきた教えは、「刃の形は大体良いが、ほんの気持ち角度が起きている方がいい。」という感じでした。石垣氏は違います。おもむろに角度測定のアングルを取り出し、「これは78度だね。78度がフック型か正しい形かの境だから、2度修正して80度にして。」ですよ。具体的に“2度修正”と指示される訳ですね。「だって“ほんの気持ち”じゃ何も分からないでしょ。そうだよね？」「はい、おっしゃる通りです。」...まあ、こういう調子のシビアな研修会でした。



私の職場では、今後5年以内に多くの方々が定年を迎え、一気に世代交代が進むものと思います。その際、従来のように「俺のやり方を見て覚えろ」式の指導では、なかなか身に付かないでしょうし、安全面も怪しかったりします。今回の研修会は良い刺激になりましたので、これを機に原点に立ち戻って、安全で確かな技術・技能を身につけたいと思います。あわせて、後輩や一般の方などにチェーンソーの指導をする際は、どのような手順、方法、あるいは言葉掛けで指導すればよいのか、そういうことも考えつつ、身につけていかなければならないなと思いました。残された時間はあまり無さそうですから。

遠路はるばる島根県までいらして指導してくださって先生方には、大変感謝しています。研修会からの帰り道、さっそくホームセンターに立ち寄って、石垣氏がトレーニングで用いられた水平レベルや角度ゲージを購入しました。平素からトレーニングを積んで、レベルアップに繋がたいと思っています。



田舎暮らしのススメ ～ なつかしの国 石見 から ～ 邑智郡川本町在住 福代美保

■ レポート 6

収穫の秋 地元の人々とのイベント そばの会

耕作放棄地を利用して去年から「そばの会」を開催しています。
そばは育てやすいし、あっという間に収穫ができて、しかも美味しいそばが食べられるので良いことばかり。

参加者は、松江や周辺の市や町、川本にエターンしたばかりの方など。

8月23日に種まきをしてあっという間に双葉から本葉に成長しています。

10月末か11月には、江の川の「焼き鮎」でダシをとった特製のそばを食べる収穫祭を開催する予定です。



■ レポート 7

収穫の秋 地元の人々とのイベント えごま料理試食会

川本町では「えごま」という作物を特産品にしようと頑張っています。

「えごま」とは、昔から日本で栽培されているけれども、最近では見かけなくなった油を採るための作物です。この油には青魚と同じ体にいい成分が含まれていて健康ブームで注目されています。

しかし、えごまを使った料理の仕方が判りにくいということから、空き家を活用した古民家風の私の家で「えごま料理試食会」を開催しました。

えごまの粒入りお寿司、えごまの穂や葉の天ぷら、えごま豆腐など7種類をいただきました。松江や益田などの遠方から総勢20名の賑やかなお食事会になりました。

10月以降も続けて開催することになっています。



■ レポート 8

収穫の秋 地元の人々とのイベント 稲刈りをしました

川本の三原地区で美味しいお米を作っておられる農業法人「なかごく楽農一家」のみなさんと消費者の方々と繋ぐ米作り活動。気が付けばあっという間に稲刈りのシーズンになりました。

今年の夏は日照不足で作柄が心配されましたが、お盆あたりから気候が持ち直したお陰で十分に美味しいお米になったようです。

稲刈りを終えて、地元で採れた野菜づくしのお昼ご飯をいただきました。

具沢山の豚汁のお味噌も手作り、お煮染めは絶品です。

農家と消費者の方々が、料理の方法など情報交換したり、お米やお味噌を買わせてもらったりと良い関係ができています。

脱穀したお米を引き渡すために「収穫祭」も予定しています。



■ レポート 9

羊のインターン

8月の終わりのこと。東京から30代の男性S君が羊の飼育の勉強に3泊滞在されました。牧場をするのが子供の頃からの夢でいよいよ一步を踏み出したいと、羊の勉強のために3週間、日本全国の羊を飼育しているところを見て回るとのこと。羨ましいです。

川本の羊は、決して生業になるものではなく、田舎で仕事を持ちながら羊を飼育してことを説明しました。せっかくなので、出雲市佐田町のメリーさんの会にも案内し、川本と佐田の両方の事例を見てもらい関係者みんなで夢を語り合いました。



平成21年度 もりふれ倶楽部の歩み

9月6日(日) 森林ボランティア

飯南町下米島の林地「セラピーの森」で、間伐を中心とした森林整備と間伐材を使った丸太ベンチづくりやヒノキ染め体験等を組み合わせたイベントを実施しました。松江市内を中心に約20名が集まり、森林の中で、それぞれ、希望に応じた体験を行いました。一部有志は、前日から泊り込み間伐作業を行いました。

この様子は、島根日日新聞で紹介されました。

スタッフ 坂本英希、中村正志、竹田正彦、福岡茂明
松本尚子、玉野英敬、吉川英雄、野田真幹



9月13日(日) ネイチャーゲーム教室

ふるさと森林公園学習展示館周辺において、ネイチャーゲーム教室を開催しました。

講師 遠藤正資

ボランティア 松本尚子、野田あや子

9月16日(水) 森林環境教育促進事業

雲南市立西小学校の4年生に対して、学校林へ、もりふれ倶楽部で作成した樹名板の取り付けと、樹木の特徴や人の関わりについての説明を行いました。この様子は、9月17日の山陰中央新報で紹介されました。 指導 中村正志、野田真幹



9月18日(金)・8月25日(火) うぐいす山整備



8月25日(火)と9月18日(金)の2日間、東出雲町立出雲郷幼稚園の裏山の園舎にかかりそうな木を中心に、8本をチルホールを使い伐採し、一部チップパーを使いチップ化して山にまくなどして、木の処分を行いました。特に、18日の伐採した木の撤去作業に関しては、もりふれ倶楽部へ県から研修に来ておられる方を含めて8名の県職員の方が、ボランティアでお手伝いくださいました。

作業員 中村正志、響茂明、野田真幹

9月19日(土) 自然観察会

ふるさと森林公園において、「大人のための自然観察会」を開催しました。実を中心にみどころがありました。

講師 中村正志



9月19日(土) 里山ものづくり体験



ふるさと森林公園学習展示館の来館者の希望者に、里山ものづくり体験として、「虫のネイチャークラフト」作成の指導を行いました。親子連れを中心に閉館時間直前まで、参加者がありました。

指導 岡田邦博 ボランティア 妹尾明美、松本尚子

9月20日(日) 樹木医研修

松江市と共同主催で、「樹木医研修」(城山周辺)を開催しました。約30名の参加者は、講師の樹木医佐藤仁志さんから、樹木をめぐりながら1つ1つレクチャーを受けました。

講師 佐藤仁志

スタッフ 福岡、竹田、小島、常盤、野口、洲濱、国井、野田
他 松江市民3名



9月21日(月) 森林ボランティア

奥出雲上阿井林地で、緑の募金の助成を得て、宍道湖・中海ラムサール条約登録記念植樹地の今年2回目の下刈りを実施しました。また、午後からは、近くの集会所でヒノキの和紙づくり体験の指導も行いました。

スタッフ 榎原道夫、岡田邦博、響繁則、福岡茂明、竹田正彦、野田あや子、野田真幹



9月23日(水) 森林ボランティア

飯南町下来島の林地「セラピーの森」で、今月2回目の間伐を中心とした森林整備と、竹細工体験等を組み合わせたイベントを実施しました。この様子は24日の読売新聞と25日の島根日日新聞で記事として取り上げられました。

スタッフ 榎原道夫、岡田邦博、福岡茂明、松本尚子、
吉川英雄、野田真幹



9月26日(土) 自然スケッチ研修 ~スケッチで味わう自然はいかが~



オプションとして、午前中材料集めを兼ねた自然散策を行った上で、植物の特徴をとらえた自然物スケッチの指導を受けました。約15名の参加者は、黙々と3時間、スケッチに取り組みました。描き終えて、静かな感動に包まれました。

講師 飯島仁司

9月26日(土)岡田邦博講演会

島根県森林インストラクターとして10年以上の長きにわたり、休むことなく、講師から裏方まで、常に活動し続けてこられた同氏が、仕事の都合で10月より、島根県を離れることとなられ、最後に、「私と木工指導」と題して講演会を開催しました。 講師 岡田邦博



9月27日(日)第5回里山自然塾

～里山の野外料理教室～

里山の野外料理として、午前中に竹筒ごはん、棒焼きパンを作りお昼ごはんと一緒に試食しました。午後から竹のバームクーヘン作りに挑戦し、クロモジ茶と一緒に頂きました。とても美味しかったです。また、お土産として、竹の手作り食器づくりにも挑戦しました。盛りだくさんのメニューに参加された方は大満足で帰られました。

講師 中村正志、岡田邦博、野田真幹、宮崎徳子

もりふれ倶楽部今後の予定

10月4日(日)里山自然塾「秋の里山でキノコを探そう」 10時～15時 参加者募集中
学習展示館 参加費 300円

10月10日(土)森林未来経営塾「原木シイタケ ひびき塾」13時～16時 参加者募集中
学習展示館集合 参加費 無料

10月10日(土)里山ものづくり体験「木の枝アート」14時～17時
学習展示館 参加者300円 事前申込み不要
会員ボランティア募集 ボランティア集合13時

10月12日(月)ネイチャーゲーム教室 14時～16時 参加者募集中
学習展示館 参加者100円

10月24日(土)森林未来経営塾「原木シイタケ ひびき塾」 13時～16時 参加者募集
学習展示館集合 参加費 無料

10月25日(日)森の音楽会 18時～20時30分 素敵な夜を楽しみましょう！！
山陰のミュージシャンによるクラシックとジャズのコンサートです。
ふるさと森林公園 森の教会 参加費は無料ですが、100円以上の緑
化募金へのご協力をお願いいたします。

10月31日(土)自然観察会(大人向き)15時～17時 参加者募集中

学習展示館 参加者集合 15時 参加費 100円

会員ボランティア募集 ボランティア集合 14時30分

10月31日(土)しまね間伐推進講演会 18時～21時

学習展示館 参加費無料

11月1日(日)森林未来経営塾「原木シイタケ ひびき塾」 9時～12時 参加者募集

学習展示館集合 参加費 無料

11月1日(日)ネイチャーゲーム教室 14時～16時 参加者募集中

学習展示館 参加者 100円

11月8日(日)里山自然塾「紅葉散策と枝の飾りイスづくり」 参加者募集中

学習展示館 参加費 300円

11月15日(日)松江市樹木観察会 10時～12時 参加者募集中

松江市楽山公園テニスコート前集合 参加無料

11月15日(日)里山ものづくり体験「ヒノキの和紙作りアレンジ色々」 14時～17時

学習展示館 参加者 300円 事前申込み不要

会員ボランティア募集 ボランティア集合 13時

11月28日(土)森林ボランティア 10時～15時 1日限りの作業班シリーズ

飯南町セラピーの森枝打ち 参加無料

11月29日(日)自然観察会(親子向き) 9時30分～11時30分 参加者募集

学習展示館 参加者集合 15時 参加費 100円

会員ボランティア募集 ボランティア集合 14時30分

12月13日(日)里山自然塾「里山素材のリースを作ろう」 参加者募集中

学習展示館 参加費 300円

イベントに関するお問い合わせお申込みは、下記の学習展示館までお願いします。

事前申し込み不要とあるもの以外は、事前申し込みが必要です。必ず、事前申し込みをお願いいたします。

NPO 法人もりふれ倶楽部では、活動を支えてくださる会員を常に募集をしています。

入会金千円、年会費二千円です。

もりふれ倶楽部会報

NO. 24

〒699-0406 松江市宍道町佐々布3352

ふるさと森林公園学習展示館内 もりふれ倶楽部

TEL(0852)66-3586 FAX(0852)66-3586

Eメールアドレス morifure@coffee.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.morifure.jp/>